

1 PLAN(目的・概要) その他経常業務

政策名		安全	責任者	総務部 危機管理課長
施策名		防災・危機管理機能の強化		
事務事業名		沿岸防災情報管理システムの管理・運用	連絡先	052-654-7813
			連携課	工事課
目的	対象(誰・何を)	防潮扉	事業 期間	平成13年度～継続
	意図(どういう 状態にしたいか)	高潮や津波等発生時に、迅速かつ確実に閉鎖します。		
概要		沿岸防災情報管理システムを適正に点検・管理し、高潮や津波等発生時に、防潮扉の閉鎖指示を操作従事者に一斉通報し、防潮扉の閉鎖状況を確認します。	根拠 法令等	
活動内容	試験通報:操作従事者に月1回の試験通報を行います。 保守点検:テレメータ監視装置、自動通報装置、無停電電源装置 各1式、無線局 13局、リミットスイッチ 37箇所		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
			関連 シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	25年度	26年度	27年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	2,200	2,299	9,028	4,509	沿岸防災情報システムの改良に伴い、保守点検委託料が増加しました。
人件費	千円	6,784	7,047	7,135	6,989	
合計	千円	8,984	9,346	16,163	11,498	

3 CHECK(検証)

指標名		25年度	26年度	27年度	中間目標 30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
通報試験(到達・応答の精度)(%) (単年度管理型)	目標	-	100	100	100	月1回の試験通報を行い、到達・応答の精度	防潮扉操作委託事業者の対応
	実績	99.7	99.4	100			
	事業進捗状況(27年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る		
試験通報(確認時間)(分) (単年度管理型)	目標	-	25	5	5	試験通報の確認時間 (閉鎖指示から応答までの時間)	防潮扉操作委託事業者の対応
	実績	15	21	7			
	事業進捗状況(27年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る		
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)		通報試験の到達・応答の精度は良好な結果を得られているため、引き続きこの状態の維持に努めていきます。 確認時間については、防潮扉操作委託事業者の対応が影響することから、目標には届きませんでした。					
必要性・有効性・効率性の検証		評価	評価に関する説明				
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？	○	高潮や津波等発生時に防潮扉を確実に閉鎖するため、当該システムを管理運用することは、海岸管理者である本組合として必要性の高い事業です。				
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっていないか？	○					
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか？	○	通報試験(到達・応答の精度)については、目標を達成することができました。				
	期待どおりの成果が得られているか？	○					
効率性	最小のコストとなっているか？	○	最低限必要な保守点検費用、人件費で実施しました。				

4 ACTION(取組)

課題	28年度以降の取組
防潮扉の閉鎖指示の確実な到達・応答を継続していくとともに、確認時間の短縮に取り組んでいくが必要です。	今後も引き続き、防潮扉の閉鎖指示の確実な到達・応答を継続していきます。